

入間川とことん活用プロジェクト事業

—No.13 狭山市—

【事業の目的】

狭山市を貫流する入間川の左岸（新富士見橋と昭代橋の間）に位置する「河川敷中央公園」を中心に、恒常的なにぎわいの創出と、誰もが親しみを持てる憩いの空間づくりに向け、官民が連携し整備を推進することにより、交流人口の増加と、地域のイメージアップが図られることを目的としています。

【事業の内容】

主な実施事業（令和元年度・2年度）

○入間川あそびと憩いの空間創出事業

- ・子どもの遊び施設の整備（大型複合遊具、乳幼児向けの施設を設置）
- ・駐車場の増設、眺望場・ベンチ・水飲み場などの整備

○民間施設導入事業

令和元年5月に埼玉県より指定を受けた「都市・地域再生等利用区域」において、独立採算により飲食施設の整備・運営を行う事業者の公募、選定を行い、令和3年3月に開業しました。

【事業年度】

平成28年度～

【予算額(千円)】

令和2年度 61,050千円

（事業総額148,658千円）※平成28年度～令和元年度決算額の合計

【財源】

地方創生加速化交付金（国）、地方創生拠点整備交付金（国）、ふるさと創造資金（県）、ふるさと創造貸付金（県）、一般財源（市）

【事業実施に至った背景・経緯】

市と県による、水辺再生 100 プラン（平成 22 年度～24 年度）や、川のまるごと再生プロジェクト（平成 24 年度～27 年度）において、親水護岸や遊歩道、魚道が整備され、また環境団体などの市民の手による美化活動が盛んに行われ、四季折々の草花を楽しめる空間として、ウォーキングやサイクリングを楽しむ市民が増える中、県内や全国各所で法改正を契機とした民間事業者による河川敷地の利活用が進んでいたことなどを背景に、本市においても検討を進めた結果、当エリアが狭山市駅西口から徒歩 12 分とアクセスしやすく、市街地との回遊性が高い場所であることや、一部の未利用地を含め広大なスペースを有していたことから、本事業をスタートすることとなりました。

【事業のPRポイント】

- 新たな賑わい生み出すためには、利用者ニーズに沿ったサービスの提供ノウハウをもつ民間事業者の力を最大限に活用する必要があると考え、多くの事業者ヒアリング調査を行い、出店に向けた課題を整理し、市が実施する整備内容に反映させました。
- 飲食施設については、河川管理上支障がない範囲において建築物等を設置するとともに、景観に配慮した外観であることや、河川との一体的な利用に配慮したデザインであることを条件に公募を行い、出店事業者であるスターバックス コーヒー ジャパン 株式会社については、河川敷地への出店は全国初となります。
- 事業地が入間川自転車道に隣接することから、流域の自治体を含め、県内外からサイクリストの誘客が期待できます。

【事業実績・成果・今後の展開】

＜令和 2 年度の実績＞

- ・入間川とことん活用エリア屋外イベント支援事業（4 月～11 月）を実施（イベント実施日数 20 日、参加企業数・15 社※市内のみ）
- ・河川敷中央公園の愛称を公募し、市内公立小学校児童による投票の結果、「入間川にここにテラス」に決定（※応募総数 734 件）

＜今後の展開＞

民間飲食施設（スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社）との連携を図り、恒常的にぎわいづくりを推進するとともに、市民や団体・企業等が実施するイベントの開催を支援するなど、引き続き入間川の魅力向上に努め、埼玉県を代表する「水辺スポット」を目指します。

【参考資料】



大型複合遊具



イベントの様子

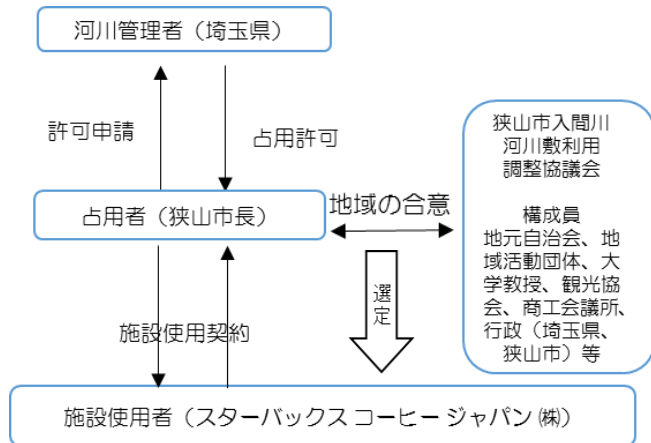


開業する飲食施設



公園内の桜

事業スキーム



入間川にこここテラス
鳥瞰イメージ

〔 連絡先 〕

商業観光課 商業観光担当 04（2953）1111（内線2551）